

CLIを使用したCatalyst 1300スイッチでのDying Gaspの設定

目的

この記事の目的は、コマンドラインインターフェイス(CLI)を使用してCatalyst 1300スイッチでDying Gasp機能を設定することです。

適用可能なデバイス | ソフトウェアバージョン

- Catalyst 1300 | 4.0.0.91([データシート](#))

概要

Dying Gaspは、Catalyst 1300シリーズスイッチでのみ使用可能な機能で、接続が失われる前に予期しない停電が発生していることを監視システムに警告するメカニズムを提供します。停電イベントが発生すると、ハードウェアコンデンサがデバイスのシャットダウンを短時間遅らせます。この間、デバイスは設定されたsyslogサーバまたはSNMP通知の受信者を介してDying Gaspメッセージを送信します。これらのメッセージは、問題の原因の特定とトラブルシューティングに使用できます。

Dying Gaspは、CLIから簡単なコマンドを使用して設定できます。詳細については、お読みください。

CLIを使用したDying Gaspの設定

手順 1

config terminalと入力して、スイッチのグローバルコンフィギュレーションを入力します。

```
configure terminal
```

手順 2

Dying Gaspを有効にするには、dying-gasp enable <method1> [method2]と入力します。最初に指定する方法は、Primary Dying Gasp方法です。

```
dying-gasp enable syslog-msg snmp-trap-msg
```

Note:

この例では、プライマリのdying gasp方式はsyslogロギングによって行われ
ます。

手順 3

no dying-gasp enableを入力すると、dying gaspを無効にできます。

```
no dying-gasp enable
```

手順 4

dying gaspの設定を表示するには、イネーブルモードからshow dying-gasp packetsを
入力します。

```
show dying-gasp status
```

手順 5

dying gaspがdying gaspパケットを送信する場所の詳細を調べるには、show dying-
gasp packetsを入力します。これは、設定されているsyslogサーバやSNMPサーバ、
および使用されるインターフェイスを示しています。

```
show dying-gasp packets
```

```
switch525566#show dying-gasp status
Dying Gasp Status: Enabled
Method 1: Syslog
Method 2: N/A
switch525566#show dying-gasp packets
Syslog packet for server 172.16.1.182, link type IPv4
Via interface gi10, local IPv4 address 172.16.1.32
Encap type is ARPA, local MAC address 38:.....:66
Next hop IPv4 address 172.16.1.182, next hop MAC address 3c:.....:87

SNMP trap packet for server 0.0.0.0, link type IPv4
Via interface gi10, local IPv4 address 172.16.1.32
Encap type is ARPA, local MAC address 38:.....66
Next hop IPv4 address 172.16.1.182, next hop MAC address 3c:.....:87

SNMP trap packet for server 169.254.0.2, link type IPv4
Via interface gi10, local IPv4 address 172.16.1.32
Encap type is ARPA, local MAC address 38:.....;6
Next hop IPv4 address 172.16.1.60, next hop MAC address ec:.....2c
```

Note:

この例では、syslogサーバは172.16.1.182に設定されていますが、SNMPサーバは設定されていません。

結論

これで準備は完了です。Catalyst 1300スイッチでDying Gaspを設定すると、デバイスの電力損失の問題について警告を受けることができます。

Catalyst 1300スイッチの詳細については、次のページを参照してください。

- [Cisco Catalyst 1200または1300シリーズスイッチにアップグレードする理由の機能比較](#)
- [Cisco Catalyst 1200および1300シリーズスイッチAt-a-Glance](#)

その他の設定と機能については、『[Catalystシリーズアドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。